

585 Pre-Cushing症候群が疑われた無症候性副腎皮質腺腫の3例

古田 希、長谷川倫男、川原 元、吉越富久夫、田代和也、上田正山、大石幸彦（慈恵医大・泌）

副腎シンチグラムで片側副腎の集積過剰を認めたが内分泌学的症状を呈さず、Pre-Cushing症候群が疑われた副腎皮質腺腫の3例を報告する。症例1は54歳女性。高血圧で通院中偶然施行された腹部CTで右副腎腫瘍が発見された。内分泌学的検査ではコルチゾールの日内変動は消失し、副腎シンチグラムで右副腎の集積過剰、左副腎の集積抑制を認めた。症例2は57歳男性。胃潰瘍の精査中に腹部CTで左副腎腫瘍が発見された。副腎シンチグラムで左副腎の集積過剰を認めた。症例3は41歳男性。健康診断のUSで右副腎腫瘍が発見された。副腎シンチグラムで右副腎の集積過剰を認めた。全例手術を施行したが症例1ではステロイド補充療法が必要であった。